

令和 3年度

事務事業評価表 (令和 2年度 の実績評価)

記入年月日
令和 3 年 4 月 16 日

事務事業名		文化財・資料館関係各種団体参画事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	020501000893
						単独/補助	単独	所属課	090701 文化財課
政策体系	総合計画の施策名		0205 文化財の保存活用						
	政策名		02 生きがいを育む学びのまちづくり				課長名		
	施策名		05 文化財の保存活用				グループ		文化財G
	手段名		01 ①文化財の保存				担当者名		
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		単年度繰返し (年度~)
	01	10	05	04	02	00	文化財保護事業		☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入
法令根拠		桜川市文化財保護条例							

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
文化財行政及び資料館運営の充実のために、各種団体や学会に参加する事業及び支出金額 ・文化財保護協会 負担金3,000円 ・茨城県西地区文化財研究協議会 負担金9,000円 ・茨城県民俗学会 負担金4,000円 ・茨城県博物館協会 負担金10,000円 ・茨城県市町村歴史民俗資料館連絡協議会 負担金5,000円 ・関東博物館協会 負担金7,000円 ・日本民具学会 負担金5,000円	総会や各種の研修会、研究発表等に参加。 県内の先進事例の内容や新たな試みについて文化財行政及び資料館運営のために活用している。 また、こういった協議会等に参加することにより、近隣の担当と連携し、資料館の来場者増とするための、スタンプラリー等を実施している。

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移									
手段	①手段 (担当者の活動内容)		④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	04年度 (目標)	05年度 (目標)
	総会や各種の研修会、研究発表等に参加。県内の先進事例の内容や新たな試みについて文化財行政及び資料館運営のために活用している。		研修会等への参加回数	回	6.00	1.00	8.00	8.00	8.00
			会報等への寄稿・編集作業の回数	件	2.00	1.00	1.00	1.00	1.00
					0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
対象	②対象 (誰、何を対象にしているのか)		⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	04年度 (目標)	05年度 (目標)
	担当職員 文化財保護活動		担当職員の数	人	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
					0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
意図	③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)		⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	04年度 (目標)	05年度 (目標)
	文化財の調査研究・保護に関する知識・技術の向上、啓蒙普及活動		情報が参考になったと答えた職員の割合	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
					0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移		01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	期間限定 総投入量
投入量	事業費 内訳	国庫支出金 千円	0	0	0
		県支出金 千円	0	0	0
		地方債 千円	0	0	0
		使用料・手数料 千円	0	0	0
		その他 千円	0	0	0
		一般財源 千円	44	43	43
		事業費計 (A) 千円	44	43	43
	正規職員従事人数 人	2.00人	2.00人	2.00人	

事業費の内訳	02年度事業費 実績 (千円)		03年度事業費 予算 (千円)	
	18 負担金補助及び交付金	43	18 負担金補助及び交付金	43
		合計	43	合計

事務事業名	文化財・資料館関係各種団体参画事業	事務事業No.	20501000893	所属課	文化財課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 各団体とも合併前や旧真壁町歴史民俗資料館のころより参加している。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 平成24年度より茨城県市町村歴史民俗資料館連絡協議会で開始した「資料館スタンプラリー」（桜川市が企画提唱）は、資料館来訪者より好評の声をいただいている。他の資料館でもスタンプラリー目的の来訪者も増加していると報告がある。					
【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。					

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 文化財保護活動には広く情報共有が必要であり、文化財の保護・活用に結びついている。また、本事業に参加することにより、桜川市の文化財が広報され、真壁伝承館歴史資料館の来館者数増にも繋がっている。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称） <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 文化財保護活動の大きな部分を市・教育委員会が担っている。
	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？） <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 職員の知識・技術のさらなる向上の余地は大きいため、参加し続けることにより資料館の展示や来館者の増といった成果の向上が期待できる。
	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？） <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 市町村間の連携や知識・技術の向上が図りにくくなる。
有効性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合） <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 他に類似の事業がない。
	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？） <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 支出は負担金のみで削減余地はない。研修等への参加が主たる業務内容であり、削減・委託は出来ない。
効率性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 研修結果は文化財の保存・活用事業全体に活かされており、公平である。
公平性	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																						
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	担当者として更なる知識・技術の向上を図り、市民への還元を進めたい。																						
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		（複数回答可） <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策 市町村合併等と世代交代を受けて連携の衰微が見られるため、市町村間の連携を更に強化することが課題であり、各市町村の担当者と呼び掛けて中長期的な課題解決の機会、場を設ける。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持																							
	低下																							
(6) 事務事業優先度評価結果		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ⑧																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>